

関東鉄工

適 用 範 囲		モ デ ル 名		KT40S
		適 用 号 機		KT40S-3001～
		車体質量(空車状態) kg		3240
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法	単 位	検 査 基 準 値
エ ン ジ ン	エンジン本体	回転速度ハイアイドルリング ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min-1 ℃ ℃	2200 ^{±50} 1250 ^{±50} (70 ～ 80) (60 ～ 70)
		潤滑油圧 (油 温) (回転速度)	kPa (kgf/cm ²) ℃ min ⁻¹	300 ～ 440 (3.0 ～ 4.5) (85 ～ 90) (2200)
		弁すき間 吸気弁 排気弁 (測定時の条件)	mm mm	0.18 ～ 0.22 0.18 ～ 0.22 (冷間時)
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kPa (kgf/cm ²) ℃ min-1	2950 ～ 3230 (30 ～ 44) (暖機後) (290)
		最高走行速度 (測定方法・条件)	km/h	10 (平地走行)
油 圧 ・ 走 行 装 置	油圧ポンプ	ポンプ吐出量 ポンプ吐出圧 (油 温)	L/min Mpa ℃	69.96 35 (60 ～ 70)
		ミッション潤滑油圧	kPa (kgf/cm ²)	— (—)
	クラッチ又は トランスミッショ ン油圧	クラッチ油圧	kPa (kgf/cm ²)	— (—)
		ミッション油量 エンジン回転速度	℃ min-1	— —
		シャフトカップリング ボルト締め付けトルク	N・m (kgf・m)	— (—)
	プロペラシャフト 又はドライブ チェーン	チェーンたるみ量 チェーン押し付け力	mm N (kgf)	— — (—)
		HST側ミッション	MPa (kgf/cm ²)	34.5 (352)
	ホイール又は タイヤ	油圧回路のリリーフセット圧 油 温	℃	50 ^{±5}
		油圧回路のリリーフセット圧	MPa (kgf/cm ²)	— (352)
		油 温	℃	50 ^{±5}

タイヤローラー

適 用 範 囲		最 大 荷 重 t		3.57
		型 式		KT40S
		適 用 号 機		KT40S-3001～
区分	検 査 箇 所	運用項目 ※測定条件、方法	単 位	検 査 基 準 値
操 向 装 置	最小旋回半径	最小旋回半径又は最大切り角度	m 度	4.7 —
	パワーステアリン グ装置	油圧回路のリリーフセット圧力 油 温	MPa (kgf/cm ²) ℃	15.5 (158) 50 ^{±5}
制 動 装 置	走行ブレーキ	HSTネガティブブレーキの場合は その旨を表示		HSTネガティブブレーキ (駐車ブレーキ兼用)
		ペダル遊びのストローク	mm	20
		踏込みストローク又は踏込み角度	mm 度	65 —
		制動能力(制動距離：以内) 制動初速度	m km/h	2.5 (10)
		[ドラム式] ドラムとライニングのすき間 ドラムの内径 ライニングの厚さ バックプレート取付けナット締 付トルク	mm mm mm N・m (kgf・m)	— — — — (—)
		[ディスク式] ディスクの厚さ パッドの厚さ ディスク取付ナット締付トルク	mm mm N・m (kgf・m)	— — — (—)
		制動能力(停止状態保持角度) レバー操作式、スイッチ操作式は その旨を表示 レバーストローク ドラムとライニングのすき間	度 mm mm	11.3 (スイッチ式) — —
	駐車ブレーキ	制動能力(停止状態保持角度) レバー操作式、スイッチ操作式は その旨を表示 レバーストローク ドラムとライニングのすき間	度 mm mm	11.3 (スイッチ式) — —
		防振ゴム	N・m (kgf・m)	— (—)
	起振装置	油圧回路リリーフセット圧 油 温	MPa (kgf/cm ²) ℃	— (—) —
特 記 事 項			機械形式	タイヤローラ
			エンジン形式	クボタ D1703-DI-K3A

注) 数値は新車基準値を示す